



尾崎行雄(号堂)

お
ざき
ゆき
お
がく
どう



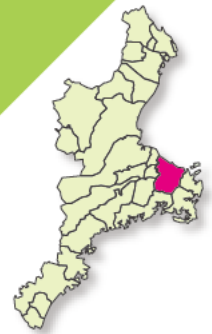
憲政の父

けんせい
ちち

立派な政治家

りっぱなせいじか

伊勢市



尾崎行雄(号堂)

「憲政の神様」「議会政治の父」と呼ばれた尾崎行雄は、1890年から63年間連続で三重県代表の衆議院議員の一人として国政で活躍しました。尾崎行雄は、民主政治や世界平和の実現のために力を尽くしました。【教材「三重の文化」P54】